

# 会議 7人

いつものワークスペースに集めたチームにリモートでの参加者を交えて、コラボレーションを拡張します。



製品 ID

製品

1	CTS-MX300-K9*	Cisco TelePresence MX300 G2
2	CTS-MX300-K9 に同梱	Cisco MIC20
3	CTS-MX300-K9 に同梱	Cisco TelePresence Touch 10

\*エンドポイントを発注する場合は、MX300 G2 の床据置キット CTS-MX300-FSK を選択してください。



### Cisco MIC20

シスコが設計したこの卓上マイクは、テーブルを中心に人が集まっていたり部屋全体に人が散らばっていたりする状況で 360 度の集音を実現します。



### Cisco TelePresence Touch 10

Cisco TelePresence Touch を使用すると、通話からコンテンツ共有まで、会議を簡単に制御できます。

## Cisco TelePresence MX300 G2

小中規模の多目的会議室でテレプレゼンスをお楽しみください。ビデオ会議を行うときでも、室内プレゼンテーションの画面として使用するときでも、55 インチのディスプレイによって参加者全員が画面を見ることができます。2 台目のディスプレイを追加してビジュアルを向上したり、組み込みの 4 画面分割マルチサイト機能を使用して、さらに多くの地点を 1 つの会議にまとめることができます。

## ベスト プラクティス

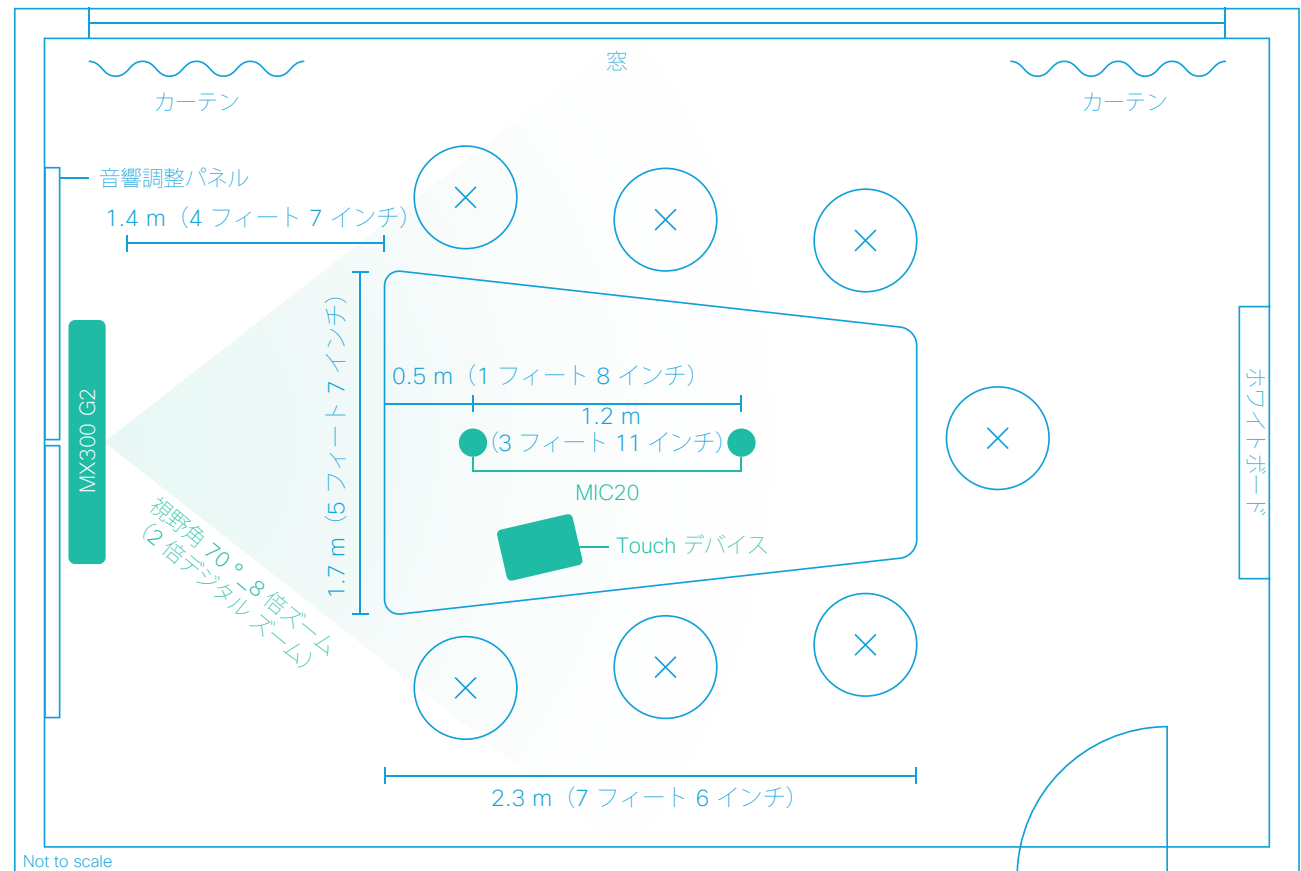
システムからテーブルまでの距離は、カメラの視野角 (70°) によって決定されます。この距離にカメラを置くと、すべての参加者を画面に捉えることができます。カメラに直射日光が入らないよう、システムは窓に隣接する壁に設置します。7 人全員が適切な視野角を確保できるよう、台形のテーブルを設置することをお勧めします (最も幅広い側がシステムに近くなるようにする)。システムよりもやや幅広いのテーブルを配置します。

フラッター エコーを避けるために、吸音パネルをシステムの後ろの、窓に隣接する壁に設置します。窓にカーテンを取り付けても、吸音の効果があります。床にカーペットを敷いても吸音効果があり、椅子を動かす音も軽減できます。

シスコ無指向性マイクをテーブルの中央に 1.2 m 間隔で置きます。テーブルを囲む参加者 7 人に対応するには、2 台のマイクが必要です。

ホワイトボードは、エンドポイントの反対側の壁に配置します。そうするとホワイトボードはカメラの撮影範囲に入り、必要に応じてカメラのプリセットを使って簡単にズームできます。カメラにより、ホワイトボードのコンテンツと参加者 (着席している参加者と起立している参加者の両方) が、高画質でキャプチャされます。回転椅子を使うと、システムからホワイトボードへとフォーカスを移すのも簡単です。

\* これは、シスコの研究開発チームによって構築およびテストされた物理構成を表したものです。他の構成も可能で、同等の性能が得られます。部屋の寸法は、必ず現地の規則や法律に従う必要があります。Project Workspace の今後のバージョンでは、さらに細部の変更と開発が行われる予定です。



シナリオとセットアップの詳細については、  
次のサイトをご覧ください。

[www.cisco.com/assets/global/JP/sol/tp/workplace\\_app/index.html](http://www.cisco.com/assets/global/JP/sol/tp/workplace_app/index.html)